# 新年を迎えて

令和６年１月１日に発生しました能登半島地震でお亡くなりになった皆様の御冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

令和６年がスタートしました。

昨年末には、本校舎の小学部の児童が製作したしめ飾りを飾り、中・高等部が製作した門松を玄関に置き、１年を締めくくりました。新年は、それらの飾りに出迎えられて心新たに新学期を始めることできました。

本校舎の中・高等部の生徒は、天気に恵まれた１月１１日、１２日に芦北町しろやまスカイドームグラウンドで、凧揚げにも挑戦しました。「今年の抱負」を書いた凧に、それぞれの思いをのせて天高く揚げることができました。

１月２０日（土）には、高等部佐敷分教室の生徒たちがウイング松橋において開催された熊本県高等学校ダンス発表会に参加しました。１２校（高校９校、特別支援学校３校）が参加しましたが、本校分教室はトップバッターで出場しました。「We　are　LUPIN！～宝を盗み出し、ハンターから逃げ切れるか！？～」のテーマのもと、心を一つにしてダンスを披露しました。リズム感溢れる雰囲気に引き込まれ、会場からもダンスに合わせた拍手が自然と起こりました。とても貴重な経験をさせていただいたと思います。

＊学部通信等でお知らせしておりますが、本校舎高等部には実習教師として宮島先生（松本先生の後任）、分教室には新たに特別支援学校サポーターとして長濱先生が勤務されることになりました。本校（本校舎・分教室）の児童生徒の教育活動の充実のために力を発揮していただきますので、よろしくお願いします。

芦北支援学校は、新たな職員も迎え、気持ち新たに令和６年をスタートさせました。地域の皆様、関係機関の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和６年１月２２日

芦北支援学校長　井口　英里